

全国調査の結果から、学力の向上が進まない状況や学習意欲が低位である傾向が続いている

児童生徒の学力を向上させるためには、授業を変える必要がある

教員の資質向上が重要

教員が自校の課題を把握し、自らの授業改善に生かす

- ・熱心な教員ほど、子どもの日々の姿にのみ気を取られてしまい、全国的な状況の中で、自校の子どもの課題を把握できていない傾向が見られる。
- ・自校の子どもの課題を把握し、自校の取組の強みと弱みを認識することで、自らの授業改善へのモチベーションにつなげる。

全国調査における各学校のKPIをレーダーチャートにして配布し、各学校で研修を実施するように指導

興味を喚起する授業、子どもが質問できる授業の実施

- ・学習意欲は、小から中へと学校段階が上がるにつれ低下。
- ・子どもの学習意欲を高める興味を喚起する授業、子どもが質問できる授業が、小学校に比べ、中学校ではあまり行われていない。

小・中合同の授業研究に優先的に指導主事を派遣。教員が学び合う機会とし、特に中学校教員が、小学校の授業づくりを自らの授業に生かす。

学力向上の効果的な方策を研究し、教員に指導（予定）

- ・2年前に県独自の学力調査を行った小4と中1が、今年度に全国調査を実施しており、調査結果の比較による同一集団の経年変化を現在分析中。
- ・同一集団で学力向上が顕著な学校への聞き取り調査を今後実施予定。

調査報告を本年度中にまとめるとともに、報告の中で、教員に求められる授業力の具体を明らかにし、市町村教育委員会をはじめ各学校教員への周知・普及を図る予定。

